

平成30年亀岡市議会定例会6月議会一般質問

亀岡市議会

平成30年亀岡市議会定例会6月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
6月12日(火)	10:00～	個人	1 平本 英久	一問一答	
	10:45～		2 並河 愛子	一問一答	
	11:30～		3 富谷加都子	一問一答	
	休憩				
	13:15～		4 齊藤 一義	一問一答	
	14:00～		5 竹田 幸生	一問一答	
	14:45～		6 田中 豊	一問一答	
6月13日(水)	10:00～	個人	7 藤本 弘	一問一答	
	10:45～		8 菱田 光紀	一問一答	
	11:30～		9 木曾 利廣	一問一答	
	休憩				
	13:15～		10 三上 泉	一問一答	
	14:00～		11 石野 善司	一問一答	
	休憩				
	15:00～		12 馬場 隆	一問一答	
15:45～	13 福井 英昭	一問一答			
6月14日(木)	10:00～	個人	14 西口 純生	一問一答	
	10:45～		15 奥野 正三	一問一答	
	11:30～		16 小川 克己	一問一答	
	休憩				
	13:15～		17 奥村 泰幸	一問一答	
	14:00～		18 酒井安紀子	一問一答	

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成30年亀岡市議会定例会6月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	平本 英久 6月12日(火) 10:00~ ※一問一答	1 大河ドラマ「麒麟がくる」の放送決定に際しての取組みについて	明智光秀を主人公とした大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が決定したが、本市の取組みについて問う。 (1)本市としてこの機会を生かした取組みは何か検討しているのか。 (2)観光客の誘致等に向けて、官民の連携についてどのように考えているのか。	市長 所管部長
		2 新火葬場の整備計画について	現在進められている本市の新火葬場の整備計画について問う。 (1)新火葬場整備検討審議会の答申を受けて、本市としてはどのように考えているのか。 (2)今後の新火葬場の整備計画はどのように進めていくのか。 (3)新火葬場の整備計画において、近隣市町との広域連携は検討しているのか。	市長 所管部長
		3 有害鳥獣被害対策の取組みについて	農業従事者にとっては死活問題である有害鳥獣被害対策について問う。 (1)有害鳥獣による被害の現状はどうか。 (2)有害鳥獣駆除に対する補助制度の現状はどうか。 (3)有害鳥獣対策モデル地区としてのあり方をどのように考えているのか。 (4)有害鳥獣対策について、今後どのように取り組んでいくのか。	所管部長
		4 道路行政と市道の安全対策について	道路行政のあり方と市道の交通安全対策の拡充について問う。 (1)市道中矢田篠線の全線開通から2年が経過したが、交通量の調査は行っているのか。 (2)通学路でもある市道中矢田篠線の交通安全対策をどのように考えているのか。 (3)交通量の増加もあり、市道中矢田篠線の一部区間で路面の劣化が著しい。今後の修繕や改修などの計画はどうか。	市長 所管部長
		5 空き家対策と移住・定住促進について	空き家対策や移住・定住促進に向けてのまちづくりについて問う。 (1)空き家バンクの現状と今後の取組みはどのように考えているのか。 (2)移住促進特別区域の指定を受けて、取組み状況や成果はどうか。 (3)空家等対策計画が策定されたが、具体的にどのように対策を講じていくのか。 (4)空家等対策の推進に関する条例が施行されてからの対応は、今後どのように行っていく	所管部長

			<p>て、申請を受理しないことはないか。</p> <p>(2) 相談件数に対する保護決定件数はどうか。 (2年間の実績)</p> <p>(3) 親族の扶養義務が言われているが、基本的な考え方は。</p> <p>(4) 今年の10月に制度の見直しが予定され、生活保護基準が引下げられる方向であるが、利用者への影響と対処についての所見は。</p>	
		5 並河駅地下道のバリアフリー化について	<p>並河駅地下道のバリアフリー化について、改善の要望は強い。</p> <p>(1) 昨年12月定例会で、スロープを設けるといことは考えていけるのではないかとという答弁をされている。具体的な改修についての見通しはどうか。</p>	市長 所管部長
3	<p>富谷加都子 6月12日(火) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 免疫を失った子どものワクチン再接種助成について</p> <p>2 介護保険による移動支援について</p> <p>3 市民の森長尾山について</p>	<p>平成25年に改正された予防接種法では、骨髄移植等の免疫機能を抑制する治療により抗体を失った子どもに対する再接種の救済措置がない。病気の予防だけでなく、蔓延予防の観点からも、本市の子どもの命を守る体制として、予防接種に対する補助制度を構築すべきと考える。</p> <p>(1) 本市において、骨髄移植等により再接種の対象となる可能性のある子どもの数は。</p> <p>(2) 本市における子どもの予防接種率は。</p> <p>(3) 本市として、治療で免疫を失われ、再接種が必要な子どもに対して費用を助成する考えは。</p> <p>平成27年4月の介護保険制度改正に伴い、予防給付の一部が「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行された。団塊の世代が後期高齢者になる2025年までに、介護認定を受け公共交通の利用が困難な人のために、総合事業である訪問型サービスD(移動支援)を導入し、移動手段確保の取組みを確保すべきと考える。移動手段が確保されれば、介護予防事業も促進され、自立した生活維持につながると考える。</p> <p>(1) 本市における自家用有償旅客運送の実態は。(福祉有償運送、公共交通空白地有償運送等の実施状況)</p> <p>(2) 特に中山間地域は、日常生活の足の確保が不安要素である。住民主体による訪問サービスとして移動支援を提供する考えはあるか。</p> <p>(3) 本市に導入している福祉有償運送を日常生活支援総合事業として受け皿にすることは可能か。</p> <p>市民の森長尾山は、篠町町づくり推進会の長尾山部会が市からの委託を受け、森林の保全を目的に整備作業を行っている。長尾山の活用状況は、団体では、近隣の園児が自然体験や体力づくりに利用したり、地元自治会が年に1~2回、100</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>人近い人が参加するフィールドウォーク等の行事を通して自然を満喫している。個人の利用は山登り等である。それゆえ、市民の森としての利活用にはほど遠いと感じる。地元の住人でさえ長尾山の存在を知らない現状がある。もっと市民に開放し利活用すべきと考える。</p> <p>(1) 市は、市民の森長尾山をどのように広報しているのか。</p> <p>(2) 以前から指摘のあった、市民の森への進入路への看板設置は。</p> <p>(3) 長尾山地内にある牧田川源流の表示看板が老朽化により認識しにくい、更新する考えは。</p> <p>(4) 昨年、長尾山入口で小型三角窯が復元された。次代を担う子どもたちや市民に文化遺産である篠窯を知ってもらい、歴史や文化を発信するイベントを長尾山で開催できないか。</p> <p>(5) 市として、市民の森長尾山の今後の利活用をどのように計画しているのか。</p>	
4	<p>齊藤 一義 6月12日(火) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 本市観光とまちづくりの考え方について</p>	<p>人口減少の時代にあって、本市の経済活性化には交流人口の増加が不可欠であり、これまでから京都スタジアム(仮称)の誘致など、様々な取り組みを行ってきたが、さらに推進する必要がある。それには、日本が「2030年には世界トップ5の観光大国になるだろう」と唱えるデービット・アトキンソン氏から学ぶべきではと考える。特に観光の4大要素である気候・自然・文化・食のうち、市内の文化財観光資源から問う。</p> <p>(1) 市内の社寺仏閣の案内看板や、トイレ・ベンチ・ごみ箱などの充実を計画的に行ってはどうか。</p> <p>国の史跡や名勝に指定されている嵐山は大変重要な観光施設であり、経済の要と考える。日本の文化庁予算1千億円に対し、世界一の観光国であるフランスの文化省予算は5千億円で、各文化財を守っている。</p> <p>(2) 観光地である経済面からも、河川改修をさらに予算要望してはどうか。</p> <p>台湾やタイなどには観光誘致に行かれており、現在、訪日外国人客数の1位から3位はアジア圏からである。しかし観光支出額の1位はオーストラリアであり、その後に欧米が続き、9位ようやく中国である。</p> <p>(3) 観光誘致にオーストラリアや欧米諸国へ行ってはどうか。</p> <p>アトキンソン氏は倒産状態であった美術工芸会社を引継ぎ、当時、会社の40%が契約社員であったが全て正社員とした。従業員の生活基盤の安定が仕事の向上心にもつながり、経営黒字化の一因になったと考える。</p> <p>(4) 市内の事業所に対して、契約社員やパート従業員の正社員化への要望を行い、市民生活</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 河川敷地占用許可準則について</p> <p>3 太陽光発電設置について</p> <p>4 消防団員確保について</p> <p>5 学校・教育問題について</p>	<p>の安定と充実を推進してはどうか。</p> <p>京都・亀岡保津川公園やかわまちづくりのにぎわい創出には、堤防堤などにカフェが、また河川敷でのスポーツやバーベキュー会場には誰でも入りやすい常設トイレが必要と考える。</p> <p>(1) 保津川の「河川敷地占用許可準則」を見直し、市民の憩いの場と市内外の交流人口の増加を図ってはどうか。</p> <p>再生可能エネルギーとして、市内各所に太陽光発電施設が目立つようになってきたが、農地への有害物質の流入や山の保水能力低下など、各地域住民から様々な不安の声を聴く。</p> <p>(1) 太陽光発電の安全・安心な普及のために「亀岡市太陽光発電設置条例」を制定されてはどうか。</p> <p>全国でピーク時に209万人を有した団員数も、現在では89万人程度に激減しているが、本市において充足率は登録上達成しており、各分団の努力に感謝している。しかし人口減少・少子高齢化が進む中、地域の安全・安心の確保のため、さらに新たな取組みが必要と考える。</p> <p>(1) 「機能別消防団員」制度を導入し、地域防災力の充実強化に向けた消防団員確保を図ってはどうか。</p> <p>東別院・西別院小学校では小規模特認校制度を取入れ、地元自治会も移住・定住促進に取組まれるなど、地域の小学校を残そうと懸命に努力されている。そのような中、両自治会では、校舎は現状のままで両小学校を有効的に利活用するなどの提案が検討されている。</p> <p>(1) 地元自治会が検討されている、東・西別院小学校の「中山間地義務教育学校」を検討されてはどうか。</p> <p>本市の教育予算において、学力向上予算が少ないように思える。全国都道府県別小学校学力調査による上位県の取組みを参考にすべきである。</p> <p>(2) 少人数校、特認校に学力向上予算を付け、さらに魅力ある学校づくりをしてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
5	<p>竹田 幸生 6月12日(火) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 JR千代川駅整備計画について</p>	<p>平成30年度は、JR嵯峨野線千代川駅整備促進協議会で、スロープの設置について説明されたが、利用する乗客に対しては、いまだに具体的な説明が行われていない。</p> <p>(1) 今年度の事業実施の具体的な内容は。</p> <p>(2) 事業実施の図面が示されていないが、実施部分だけでも今年度に広報してはどうか。</p> <p>(3) 今後、ホーム間の移動が課題としてあるが、その方向性は。</p>	<p>所管部長</p>

		<p>2 亀岡の地酒振興について</p> <p>3 上下水道の広報について</p> <p>4 千代川小学校施設整備について</p>	<p>亀岡市には地酒蔵元があり、多くの方に愛飲されている。より多くの人々に知っていただくために、行政の積極的な取り組みが必要である。</p> <p>(1) 市内にはいくつの蔵元があるのか。</p> <p>(2) 現在、振興策としてどのような施策があるのか。</p> <p>(3) 今後、より親しんでいただくために積極的な取り組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>亀岡市の上下水道の広報として「かめおか水だより」が定期発行されており、視覚的にわかりやすい。その他にも「保津川のめぐみ」や「マンホールカード」等の工夫がされている。</p> <p>(1) 広報紙の状況は。</p> <p>(2) 保津川のめぐみの状況は。</p> <p>(3) マンホールカードの状況は。</p> <p>千代川小学校は児童数が増加しており、教室増設は喫緊の課題である。プール、体育館は年次計画が示されていたが、エアコン設置等の年次計画も合わせて明確にすべきである。</p> <p>(1) 整備の具体的な方向性はどうか。(雨漏り、体育館、プール、エアコン、教室増設)</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
6	<p>田中 豊 6月12日(火) 14:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 京都スタジアム(仮称)について</p>	<p>京都スタジアム(仮称)が着工され、工事が進められているが、この工法等について問う。</p> <p>(1) 「意匠図」と呼ばれている実施設計図書によると、3.15メートル角のものをはじめ形状は何種類かあるが、コンクリートの柱状のものを地下2.5メートルから4.5メートルのところまで120個を埋設することになっているのか。</p> <p>(2) これらの柱状のものを高さ2メートルのコンクリートの地中梁で、つなぐことになっているのか。</p> <p>(3) 住民訴訟で、被告である京都府が平成30年4月26日付けで提出した準備書面には、「コンクリート工事は基礎で2割、地中梁で約6割をプレキャストにより行う」と書かれている。これは、基礎の8割、地中梁の4割はコンクリートの現場打設ということになるのではないのか。</p> <p>(4) 京都府が平成30年4月26日付けで提出した準備書面と京都府が環境保全専門家会議に示した平成29年度公共事業評価調書とは矛盾するのではないのか。</p> <p>(5) 2.5メートルから4.5メートルの掘り下げをする際には、土止め工が必要と考えるが、どのような土止め工法を用いたのか。</p> <p>(6) コンクリートの現場打設は全コンクリート量の半分を超えることが考えられるが、地下水への影響の有無は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 定住促進事業について</p> <p>3 消防団員の報酬について</p> <p>4 障害福祉サービス等報酬改定について</p>	<p>(7) 構造図には10メートルから12メートル以外に15.5メートルや19メートルもの杭が打ち込まれることになっているが、全体で何メートルの杭が何本打ち込まれるのか。</p> <p>(8) 12メートル以上の杭が打ち込まれることは環境保全専門家会議に報告されていたのか。また、それらの杭による地下水への影響の有無は。</p> <p>(9) 環境保全専門家会議のメンバーには、土木や地下水解析の専門家はいるのか。また、環境保全専門家会議の専門性を担保するために、どの専門家が、どのように調査結果を把握・評価したのか。</p> <p>(10) 現在地下水モニタリング調査が行われているが、その回数と時期は。</p> <p>(11) 地下水モニタリング調査の結果が出ているものがあれば明らかにすべきではないか。</p> <p>総務文教常任委員会は、去る5月15日、福岡県筑後市にて「定住促進事業」の視察を行った。全国的に多くの市で人口減少が進行している下で、筑後市ではほとんど人口が減少していない状況であった。</p> <p>5月29日開催の総務文教常任委員会で、この視察の中間的なまとめを行った。</p> <p>筑後市定住促進事業の主なものについては、マイホーム取得支援事業、多子出産祝い金事業、新婚世帯家賃支援事業、中古住宅リフォーム補助事業であった。</p> <p>(1) 筑後市の定住促進事業のメニューを本市に取入れてはどうか。</p> <p>亀岡市消防団条例第16条で、報酬及び報酬支給が規定されている。その別表の(1)に役員、団員報酬が、(2)に出動報酬の金額が定められているが、次の点について問う。</p> <p>(1) 役員・団員報酬は、役員・団員の個人口座に振込まれているのか。</p> <p>(2) これらの報酬の地方交付税算入額はいくらか。</p> <p>(3) 報酬を地方交付税算入額に合わせ、引上げるべきではないか。</p> <p>生活保護基準引下げ、介護保険法の改定、社会福祉法等関連制度等の改定が2018年度(平成30年度)に一斉に実施される。</p> <p>障害者福祉事業所の全国団体「きょうされん」は、4月からの障害者福祉サービス等報酬改定の緊急実態調査を実施し、その結果が明らかにされた。</p> <p>761事業のうち402事業が減収見込みとなっており、深刻な影響が懸念される。</p> <p>(1) 就労継続支援A型事業について問う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	---	---	--

			<p>①就労継続支援A型事業とはどのようなものか。 ②報酬の改定内容は。 ③就労継続支援A型事業を行っている事業所数は。 ④報酬改定による影響額は。 (2) 就労継続支援B型事業について問う。 ①就労継続支援B型事業とはどのようなものか。 ②報酬の改定内容は。 ③就労継続支援B型事業を行っている事業所数は。 ④報酬改定による影響額は。 (3) 就労移行支援事業について問う。 ①就労移行支援事業とはどのようなものか。 ②報酬の改定内容は。 ③就労移行支援事業を行っている事業所数は。 (4) 事業所の実態調査を行い、影響の把握をすべきではないか。 (5) 国に対して、緊急の激変緩和措置を求めるべきではないか。</p>	
7	<p>藤本 弘 6月13日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税の創意工夫と返礼品の万全な体制について</p> <p>2 亀岡市路上喫煙の規制に関する条例について</p>	<p>本年5月17日、産業建設常任委員会で、山形県天童市へ「ふるさと納税による市内産業の活性化について」行政視察に行った。天童市においても、平成25年度までは年間5~10件くらいで、返礼品もなくお礼状だけで、金額も年間50万円から200万円程度であった。平成26年から返礼品制度を導入し、市のPRと地域産業の活性化を図ったところ、7億8千万円の寄附が集まり、平成27年には32億2千万円、平成28年には33億5千万円が集まったとのことである。</p> <p>(1) 本市において、ふるさと納税1万円に対する返礼品の種類はどのくらいあり、全体の何割くらいか。 (2) 亀岡市の返礼品の人気1位は何か。 (3) 本市の返礼品のベスト10には、どのようなものがあるのか。 (4) 返礼品の生産体制、送付体制等の準備は万全か。 (5) 「こち亀」の作者・秋本治先生に、亀岡市を舞台とした漫画「ファインダー」のイラストのご協力をいただき、それを活用したお礼状を作成し、返礼品に添える考えはあるか。 (6) 大河ドラマ、明智光秀「麒麟がくる」を活用し、亀岡市のPRとふるさと納税の推進につなげる方策は何か考えているか。 (7) 他市のふるさと納税の研究はどのようにしているか。具体的に、目標とする市はあるか。 (8) 今後、ふるさと納税をどのように活用し、どのように伸ばしていく考えか。</p> <p>この6月議会に、亀岡市路上喫煙の規制に関する条例案が議案として提出された。2020年には本市に京都スタジアム(仮称)が完成する。この条例をより実効性のあるものとするため、以下の質問を行う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 国道9号のダブルルート実現について</p>	<p>(1) 路上喫煙禁止区域の指定については、具体的にどの区域を考えているか。</p> <p>(2) 亀岡市にふさわしい路上喫煙禁止のロゴマークを考え路面に標示すると言われていたが、ロゴマークは決まったのか。</p> <p>(3) 京都スタジアム（仮称）が完成すれば、オリンピックと合わせ多数の外国人観光客が来られると思うが、何カ国語かの外国語表示は考えているか。</p> <p>(4) 4月19日の京都新聞でも指摘があったが、JR各駅の喫煙場所の分煙化、喫煙室または施設等の設置について、どのように考えるか。</p> <p>(5) 公共施設等における禁煙と分煙化、喫煙場所の設置と喫煙ルーム等の設置についてはどのように考えるか。</p> <p>(6) 条例違反者に対する過料の設定は、どのように考えるか。</p> <p>(7) 喫煙禁止区域を誰が監視し、違反者に対し、誰が過料を徴収するのか。</p> <p>国道9号のダブルルート実現について、国・府へ早期に要望を行う必要がある。3月定例会でも質問したが、再度、国道9号のダブルルート化について問う。</p> <p>(1) 亀岡市における、各種団体（商工会議所、経済同友会、青年会議所、商店街連盟等）との意見交換、合意形成はどのように行っているか。</p> <p>(2) 近隣市町との協力関係について、昨年8月に京都丹波2市1町で構成する国道9号ダブルルート整備促進協議会を発足させ、そこでさまざまな角度から議論を行いルート選定の検討をしていくと答弁されているが、現在まで何回協議会を開催し、その進捗状況はどうか。</p> <p>(3) 京都市との合意形成には、どのように働きかけているか。</p> <p>(4) 京都府知事にも、国道9号のダブルルートの要望について取上げていただいております、合意形成のもとルート選定を行い、図面と経済効果（ホテル誘致や観光客の誘客増加、宿泊型観光への転換等による経済効果）の計画書を添えて要望を出すと言われていたが、どのように府への要望活動をしているのか。</p> <p>(5) 国、特に国土交通省へは、予算要望も含め、どのような要望活動を行っているか。</p> <p>(6) 国道9号のダブルルート化として、国道9号千原交差点を起点とし、宮前千歳線と亀岡園部線を経由して、トンネルで新丸太町へ接続する亀岡新丸太町線の実現が亀岡市の未来を拓く重要な都市計画と考える。その後に亀岡と西京区大原野間のトンネル化なら分</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	----------------------------	---	--------------------

		4 雑水川拡幅整備事業の早期推進と完了について	<p>かるが、これを逆にすると、亀岡市の経済に大打撃を与えると考えるが、市長の所見は。</p> <p>雑水川拡幅整備事業の早期推進と完了について問う。</p> <p>(1) 緑橋から北町橋の区間について、進捗状況と完成予定は。</p> <p>(2) 北町橋から上流の整備計画と完成予定は。</p> <p>(3) 春日橋、春日小橋の拡幅整備に係る土地の取得と工事の完了予定は。</p>	市長 所管部長
8	<p>菱田 光紀 6月13日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想と森林経営管理法の活用について</p> <p>2 府道枚方亀岡線の改修について</p>	<p>亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想が明確に打ち出された。一方で、先日6月1日に森林経営管理法が公布され、来年4月1日から施行される。この法律は、林業経営の効率化及び森林の管理適正化の一体的な促進を図るため、地域森林計画の対象とする森林について、市町村が経営管理権集積計画を定め、森林所有者から経営管理権を取得した上で自ら経営を行い、または、経営管理実施権を民間事業者を設定する等の措置を講じようとするものである。</p> <p>(1) 亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想において、場所によってはその背景となる山林景観が大事になってくると思うが、山林との関係をどのようにとらまえているのか。</p> <p>(2) 亀岡市が自ら経営を行わなくても経営管理実施権を民間事業者を設定することによって、森林とその景観の保全が図られると考えるが、今後の取組みはどうか。</p> <p>(3) このモデルケースとして、区域の95%を山林が占める西粟倉村(岡山県)の事例がある。「百年の森林構想」による50年後の森林を考えて、森林保全と林業振興やまちづくり、ひとづくりが行われている。そこには、人口1600人の村ならではの活気がある。国全体で620億円と言われている森林環境税をうまく活用して、里山を整備し山林保全を図ることにより、亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想と相まった取組みができると思うがどうか。</p> <p>亀岡市の南の玄関口として、緊急輸送道路府道枚方亀岡線がある。この道路は、大阪方面から緑豊かな山林と溪流を楽しみながら亀岡盆地へと人々をいざなっている。ただ、残念なことに山間部では一部工区が改良されず、未着工区間においてがけ崩れが発生し、通行止めになったことがある。市民生活にも大きく影響しており、今もその復旧工事が行われている。一方、ムツミ病院から国道9号までの区間では歩道がなく危険な状態である。</p> <p>(1) 歌留多工区の早期着工、完成を期待している。府道ではあるが、亀岡市のまちづくりに</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 安町大池の堤防管理と市の木・桜の保護について</p>	<p>欠かせない道路改良のめどと、この道路に対する亀岡市としての思いはどうか。</p> <p>(2) この区間の沿線には、多くの桜やもみじがあり、四季折々に通行者の目を楽しませている。道路改良とは別の視点で、この豊かな景観を良い形で残していくべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 地元の促進協議会の積極的な取組みもあって、ようやくムツミ病院付近で拡幅工事が始まっている。工事進捗について、今後の見込みと国道9号との取付け工事はどのように進むのか。</p> <p>(4) 鍬山神社の鳥居付近には、鍬山工区の完成とともに、コミュニティバスの停留所が設置され、広い敷地が残っている。ここをウエルカムガーデンとして整備してはどうか。</p> <p>安町大池の堤防の南側と西側には、大きな木が育っている。その中には大きく育った市の木・桜も見られる。過日、ここの木が春の嵐で倒れ、市営住宅の通路をふさぎ、緊急で地元安町農家組合の皆さんに除去を願った。</p> <p>(1) 池の敷地の管理について、地元の認識と亀岡市の認識にずれがあるように思うがどうか。</p> <p>(2) 池の堤防に植わっている桜は、いつ頃誰の手によって、何のために植栽されたのか。</p> <p>(3) 亀岡市と地元土地改良区との管理区域を明確にする必要があるのではないか。</p> <p>(4) 市の木であり、地域の景観を守ってくれている、ここの桜をどのように守っていくのか。</p> <p>(5) この池を廃止し、野球の公式スタジアムにしてほしいという声があるが、市長の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
9	<p>木曾 利廣 6月13日(水) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 観光振興に関わる土地整備について</p> <p>2 桂川河川整備について</p>	<p>亀岡市の三大観光の1つであるトロッコ亀岡駅周辺の整備について尋ねる。</p> <p>(1) 観光振興と地元活性化をさらに推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) トロッコ亀岡駅周辺の市街化調整区域において建造物がいくつか存在するが、法的に問題はないのか。</p> <p>(3) その件について、早急に地元地権者及び関係機関と調整すべきと考えるがどうか。</p> <p>平成29年度の桂川河川整備について、当初計画の予算は予定通り執行されたのか尋ねる。</p> <p>(1) 桂川本川の平成29年度当初予算及び補正予算による整備状況は。</p> <p>(2) 桂川・支川の堆積土砂の撤去について、当初予算、補正予算、府民公募型事業の執行状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 京都スタジアム（仮称）について</p> <p>4 広域連携について</p>	<p>京都スタジアム（仮称）の工事が進捗しているところであるが、交通・環境・水質等の指摘された内容について尋ねる。</p> <p>(1) 工事による交通の問題点と現在までの経過について問う。</p> <p>(2) 環境問題、特にアユモドキの生態の変化についてはどうか。</p> <p>(3) 地下水の現在までの検査結果はどうか。</p> <p>少子高齢化、人口減少社会が進む中、今後の京都中部地域を含む、広域連携のあり方について尋ねる。</p> <p>(1) 国道9号ダブルルートの推進には広域連携が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 新火葬場建設についても広域連携が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 京都中部地域に広域の文化ホールの設置が必要と考えるがどうか。</p> <p>(4) 京都中部広域消防組合の亀岡西部拠点施設の設置について、広域連携が必要と考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>
10	<p>三上 泉 6月13日(水) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 スタジアムが周辺地域の交通事情に及ぼす影響の調査について</p> <p>2 市道の整備について</p>	<p>昨年6月定例会で、亀岡駅北土地区画整理事業地内における京都スタジアム（仮称）整備事業用地を地権者から取得する「財産の取得について」議案の議決にあたり、「交通に係るシミュレーションを早急に実施し、亀岡市としての対策をとること」という指摘要望を行った。</p> <p>(1) 交通シミュレーション及び関連する調査を、Jリーグ開催期間中に行うとしていたが、亀岡市として行っているのか。</p> <p>(2) シミュレーションの実施とともに、亀岡市としての具体的対策をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 今後の具体的な取組みの見通しは。</p> <p>市道の新設・整備、点検・補修、安全対策等の施策についての考え方を問う。</p> <p>(1) 自転車利用者や歩行者の観点、とりわけ身体障害者、高齢者などの視点に立った道路整備について、所管部長の決意を3月定例会で表明されたが、今年度のこれらの施策の計画や進捗状況は。</p> <p>(2) 3月末に供用開始された市道北古世西川線の安全対策について問う。</p> <p>①安全対策としての課題をどう認識しているか。</p> <p>②交通量の変化をどう把握しているのか。</p> <p>③とりわけ、府道王子並河線は午前7時から9時の間、一方通行規制が行われているが、その時間帯の市道の交通量の特徴を把握しているか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 犯罪被害者等支援条例について</p> <p>4 本市職員や教職員の労働安全衛生、安心して働き続けられる職場づくりについて</p>	<p>④前項の東行き（馬堀駅方面）の自動車の流れをどう把握しているか。問題はないか。</p> <p>⑤JR三宅踏切に連動する信号機の設置と、それに伴う交通規制（解除を含む）の見通しは。</p> <p>⑥西川沿いの道路との丁字路交差点の安全確保についての対策を考えているか。</p> <p>⑦街路灯設置の見通しは。</p> <p>平成24年3月30日制定、同年4月1日施行の亀岡市犯罪被害者等支援条例について問う。</p> <p>（1）条例制定の趣旨（目的や背景）は。</p> <p>（2）全国の多くの自治体で同様の条例が制定され、その後、被害に遭われた遺族など当事者からの要望を取入れて、見直し・充実のための条例改正が行われている。先進的な事例として、兵庫県明石市では、今年4月に2度目の条例改正を行っている。これらの改正による施策の概要と、本市の施策概要を比較して、さらに充実させる必要があると思うが、市長の所見は。</p> <p>全国的に働き方の改革が叫ばれている中、亀岡市は「イクボス宣言」、「かえるDAY」など、職員の時間外勤務縮減と働きやすい職場づくりに取組まれている。</p> <p>（1）市職員の働き方改革について問う。</p> <p>①諸施策・取組みの効果は上がっているか。</p> <p>②病気休業者（身体的・精神的）の人数と割合は。</p> <p>（2）市立学校教職員の働き方改革について問う。</p> <p>①平成29年度の小学校・中学校別の時間外勤務の実態（80時間以上、100時間以上）は。</p> <p>②病気休業者（身体的・精神的）の人数と割合は。</p> <p>③時間外勤務縮減に向けた取組みと課題は。</p> <p>④労働安全衛生に係る話し合いを年3回行い、実態把握や話し合いの結果を、全教職員に印刷物を配付して知らせるということであったが、昨年度の実績はどうか。</p> <p>⑤「イクボス宣言」、「かえるDAY」等の取組みを、学校にも取入れているのか。まだであれば、ぜひ取入れてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
11	<p>石野 善司 6月13日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 大河ドラマ「麒麟がくる」による観光振興等の取組みについて</p>	<p>2020年の大河ドラマが、亀山城の城主であった戦国武将・明智光秀公を主人公とした「麒麟がくる」に決定した。長年、誘致活動を続けてきた関係者たちに喜びが広がった。光秀は織田信長から丹波平定を命じられ、亀山城を築いた。本能寺の変を起こした謀反人のイメージが強いが、丹波地方では、まちが発展する礎を築いたとして市民から慕われる存在である。光秀とゆかりの深い</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>京滋の地元住民からは、喜びの声とともに名君、知将としての光秀を全国に知ってほしいと願う声相次ぎ、大河ドラマでの観光振興と地域経済の活性化への期待が膨らんでいる。</p> <p>(1) 大河ドラマが「麒麟がくる」に決定したが、市長の現在の心境は。</p> <p>(2) 近隣市町との連携はどのようにするのか。</p> <p>(3) 城下町風景の醸成はどのようにするのか。</p> <p>(4) 大河ドラマで観光を振興する具現策は。</p> <p>(5) 地域経済はどのように活性化するのか。</p> <p>(6) 光秀ドラマ館を設置する考えは。</p> <p>(7) 今後の課題は何か。</p>	
	2 保育所の広域入所について	<p>認可保育所を利用する際の申請先は原則、児童の住む市区町村に限られているが、保護者の通勤等から他の市区町村の保育所に入所させたい場合がある。児童の受入れ状況は、自治体によってばらつきがある。</p> <p>(1) 入所できる制度はあるのか。</p> <p>(2) 亀岡市の広域入所の取組みは。</p>	市長 所管部長
	3 特殊詐欺被害防止策強化について	<p>巧妙な手口による特殊詐欺被害が全国で発生している。子や孫になりすます振り込め詐欺などの特殊詐欺が後を絶たない状況である。被害者の大半は高齢者である。自分は大丈夫と思っている人ほど危ないといわれている。高齢層が裕福で、若年層が貧しい社会が生んだ犯罪との見方も出ている。</p> <p>(1) 本市での被害額は。</p> <p>(2) 高齢者を詐欺被害から守る方策は。</p>	市長 所管部長
	4 高齢者運転免許証自主返納について	<p>高齢者のアクセルの踏み間違いやギアの入間違いによる誤発進等で、乗用車が店舗等に突っ込む交通事故が多発している。</p> <p>(1) 平成29年度の高齢者運転免許証自主返納者数は。</p> <p>(2) 敬老乗車券の利用状況は。</p> <p>(3) 高齢者運転免許証自主返納の啓発効果は。</p>	市長 所管部長
12	<p>馬場 隆 6月13日(水) 15:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 地震・洪水対策について</p> <p>本市は安全・安心なまちづくりを目指し、平成20年3月に「亀岡市建築物耐震改修促進計画」を定め、平成27年度末までに住宅の耐震化率を90%まで引上げることとしている。</p> <p>(1) 木造住宅耐震化促進事業の到達について問う。</p> <p>①現在(平成29年度末)の対象住宅は何軒か。</p> <p>②90%(もしくはさらに高い)の目標達成への課題は何か。</p> <p>(2) 店舗改修事業の創設について問う。</p> <p>①店舗は、その目的から多くが幹線道路に面している。幹線道路に面する建築物耐震改修対象店舗は何軒か。</p>	市長 所管部長

		<p>②それらは木造住宅耐震化促進事業の対象となるのか。</p> <p>③茨木市等で行われている店舗リニューアル助成制度を創設すべきではないか。</p> <p>京都府は5月15日に想定最大規模降雨(1/1,000)による洪水浸水想定区域図をホームページ上で公表した。淀川水系で41河川、由良川水系で10河川が公表されたが、桂川水系とその支川はいまだ公表されていない。</p> <p>(3) 浸水想定区域図の公表について問う。</p> <p>①いつ公表されるのか。</p> <p>②遅れの原因は何か。</p> <p>改定版の洪水ハザードマップの作成や市民への配布等、新しい段階での洪水避難の周知徹底がされていない。</p> <p>(4) 洪水ハザードマップについて問う。</p> <p>①浸水が想定される区域と深さは、桂川とどのような支川で示されるのか。</p> <p>②想定される桂川と各支川の降雨量はそれぞれ何ミリメートルか。</p> <p>③避難施設・避難場所に変更はあるのか。</p> <p>④土石流や地すべり箇所に変化はあるのか。</p> <p>(5) 要配慮者利用施設の浸水対策について問う。</p> <p>①対象となる要配慮者利用施設は市内に何カ所あるか。</p> <p>②その施設名は。</p> <p>③そのうち、浸水想定区域内に立地する災害時要配慮者利用施設は何カ所か。</p> <p>④避難確保計画を作成している要配慮者利用施設はどこか。</p> <p>⑤計画を作成できない(または遅れの)理由は何か。</p> <p>⑥計画作成の支援をどのように進めるのか。</p> <p>⑦避難訓練の支援をどのように進めるのか。</p>	<p>②それらは木造住宅耐震化促進事業の対象となるのか。</p> <p>③茨木市等で行われている店舗リニューアル助成制度を創設すべきではないか。</p> <p>京都府は5月15日に想定最大規模降雨(1/1,000)による洪水浸水想定区域図をホームページ上で公表した。淀川水系で41河川、由良川水系で10河川が公表されたが、桂川水系とその支川はいまだ公表されていない。</p> <p>(3) 浸水想定区域図の公表について問う。</p> <p>①いつ公表されるのか。</p> <p>②遅れの原因は何か。</p> <p>改定版の洪水ハザードマップの作成や市民への配布等、新しい段階での洪水避難の周知徹底がされていない。</p> <p>(4) 洪水ハザードマップについて問う。</p> <p>①浸水が想定される区域と深さは、桂川とどのような支川で示されるのか。</p> <p>②想定される桂川と各支川の降雨量はそれぞれ何ミリメートルか。</p> <p>③避難施設・避難場所に変更はあるのか。</p> <p>④土石流や地すべり箇所に変化はあるのか。</p> <p>(5) 要配慮者利用施設の浸水対策について問う。</p> <p>①対象となる要配慮者利用施設は市内に何カ所あるか。</p> <p>②その施設名は。</p> <p>③そのうち、浸水想定区域内に立地する災害時要配慮者利用施設は何カ所か。</p> <p>④避難確保計画を作成している要配慮者利用施設はどこか。</p> <p>⑤計画を作成できない(または遅れの)理由は何か。</p> <p>⑥計画作成の支援をどのように進めるのか。</p> <p>⑦避難訓練の支援をどのように進めるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
	<p>2 京都スタジアム(仮称)に係る浸水対策について</p>	<p>災害からの安全な京都づくり条例(平成28年8月4日京都府条例第41号)では、土地の遊水機能の維持を所有者等に求めている。</p> <p>(1) 亀岡駅北地域は遊水機能を有する土地であるが、スタジアム建設を進める京都府はどのような責任をとるのか。</p> <p>(2) 亀岡市はどのような責任を果たすのか。</p>	<p>災害からの安全な京都づくり条例(平成28年8月4日京都府条例第41号)では、土地の遊水機能の維持を所有者等に求めている。</p> <p>(1) 亀岡駅北地域は遊水機能を有する土地であるが、スタジアム建設を進める京都府はどのような責任をとるのか。</p> <p>(2) 亀岡市はどのような責任を果たすのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 社会教育施策の拡充について</p>	<p>亀岡市は、1988年3月30日に全国の市として初めて生涯学習都市宣言を行った。この理念に基づく施策について問う。</p> <p>(1) 高齢者さわやか教室の充実について問う。</p> <p>①老人大学として出発した教室だが、どのような理念で進められてきたのか。</p> <p>②どのような講座を開いているのか、また過去3年の実績は。</p> <p>③高齢化社会が加速する中、今後の展望は。</p>	<p>亀岡市は、1988年3月30日に全国の市として初めて生涯学習都市宣言を行った。この理念に基づく施策について問う。</p> <p>(1) 高齢者さわやか教室の充実について問う。</p> <p>①老人大学として出発した教室だが、どのような理念で進められてきたのか。</p> <p>②どのような講座を開いているのか、また過去3年の実績は。</p> <p>③高齢化社会が加速する中、今後の展望は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

			<p>(2) 市民活動・文化活動に利用できる施設の計画的な整備等について問う。</p> <p>①市内16施設の利用状況は。</p> <p>②地域別・分野別の設置状況は。</p> <p>(3) 亀岡会館・中央公民館跡地について問う。</p> <p>①「市民の福祉の増進及び文化、教養の向上」を図る総合的施設建設の考えは。</p> <p>②地元や文化関係者、学識経験者等が参加して施設基本計画を作成する必要があるのではないか。</p>	
13	<p>福井 英昭 6月13日(水) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 事務事業の広域化について</p> <p>2 公共交通のさらなる充実について</p> <p>3 教育行政について</p>	<p>人口減少社会の到来でますます厳しくなるのが地方財政である。市町村が独自に特色ある事務事業に取り組むことは自治体間競争の上でも不可欠だが、その一方で、周辺の自治体が力と知恵を出し合って行政運営をしていくことは今後不可避と思われる。</p> <p>(1) 事務事業の広域化について、所見は。</p> <p>(2) 一部事務組合で進める広域化事業以外で、事務事業の広域化がされているものはあるか。また、それはどのようなものか。</p> <p>(3) 今後一部事務組合で実施可能な事務事業はどのようなものと考えるか。(相手方があることなので一概には言えないが、亀岡市から考えられる事業は。)</p> <p>(4) 一部事務組合での実施になじまない、もしくは一部事務組合で行うことのできない事務事業の広域化とは、どのようなものがあるか。</p> <p>本市は地形的にも複雑で市域が広く、周辺部の高齢化はますます進む。このような中、公共交通はまちの背骨ともいえる。</p> <p>(1) 亀岡市地域公共交通計画は、平成30年度で最終年となる。この達成度はどの程度と考えているか。</p> <p>(2) 地域公共交通会議条例の一部改正の要点は。</p> <p>(3) 平成29年度に近畿運輸局から提案された「地域連携サポートプラン」はどのようなものか。</p> <p>(4) 今年度に新たな公共交通計画を策定するとして、国・サポートプラン・審議会の関係性はどのようなものか。</p> <p>(5) 新計画のスケジュールと、今考えられる重点目標は。</p> <p>本市の教育行政について、以下の点を質問する。</p> <p>(1) 学校規模適正化について問う。</p> <p>①学校規模適正化について、地域や保護者に適切な情報を示しているか。</p> <p>②まずは問題の提起をすることから始まると</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長</p>

			<p>思うが、所見は。</p> <p>(2) 小学校の特色化について問う。</p> <p>①市内小学校にはそれぞれ特色があると思うが、主なものは。</p> <p>②城西小学校のマーチングバンドが今年で終了することについて、所見は。</p> <p>③吉川小学校に農業教育の特色を持たせてはどうか。</p> <p>(3) 学校指定の制服、靴等について問う。</p> <p>①本市の小・中学校それぞれに、いわゆる「指定のもの」はどれぐらいあるのか。またどのようなものがあるか。</p> <p>②指定しているものについて、なぜ指定しなければならないのか。</p> <p>③指定を外すことが可能なら保護者は経済的に助かる。子どもの貧困問題に取り組む一方で、逆行していないか。</p>	
14	<p>西口 純生 6月14日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 広域幹線道路整備について</p> <p>2 洪水抑制対策・田んぼダムについて</p> <p>3 桂川整備促進について</p>	<p>将来に夢のある構想の観点から問う。</p> <p>(1) 京都市内へのルートとして、ダブルルートはどのような意味を持つものか。</p> <p>(2) 現在、2つのルートが示されているが、いずれ1本化を考えているのか。また、国策として国が実施すべきだと考えるがどうか。</p> <p>(3) 大阪に目を向けた幹線道路は、非常に大きなまちづくりの効果が期待できる。新名神高速道路ともつながると、いっそう効果的であることは明白であると考えますが、どのように考えているのか。</p> <p>下流域の洪水を抑制させる効果がある田んぼダムについて、広大な農地を活用して水の流下を抑制させ、水害抑制の一端を担うとの発想から調査を行ってきた。</p> <p>(1) 田んぼダムについて、亀岡市はどのような認識をしているのか。</p> <p>(2) 先進地視察では、亀岡市にとってさらに大きな抑制効果が望めることを確認した。このため、実施の方向性を見出してほしいと考える。交付金を活用し、協力者の負担軽減となる体制づくりが重要であり、農家組合等に協力要請すべきだと考えるが所見は。</p> <p>(3) 田んぼダム実施にこぎつけた自治体が多く出てきている。研究調査を実施することについての見解は。</p> <p>桂川整備促進に係り、霞堤を1メートル嵩上げる時期が迫ってきている。その対応について問う。</p> <p>(1) 1メートル嵩上げすれば起こる問題として、内水処理がある。京都府と計画協議は行っているのか。また、市として計画案を提示する意思はあるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 教育行政について</p> <p>5 保育所の安全対策について</p> <p>6 ふるさと納税について</p>	<p>(2) 保津町下浜の霞堤の締切りは、対応が難しい問題もある。市としても効果的な構造を検討すべきではないか。亀岡市の見解を求める。</p> <p>小規模特認校について問う。</p> <p>(1) 小規模校から小規模特認校への転校の事案が現実となっている。小規模校の課題に対応するため実施されたが、地元から心配の声が出ている。このようなことも想定した中で、実施したものであるのか。</p> <p>(2) さらに小規模校の増加が加速される懸念が高まっている。特認校指定を含め、その対策をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 保津小学校も特認校指定の声をあげているが、どのように対応するのか。</p> <p>保津保育所については耐震性に問題があり、また、安全に乗降できる隣接した駐車場がなく危険である。安全な場所への移転も含めた検討が必要だと考えるが、その方向性について問う。</p> <p>(1) 当初、保津文化センター前の市有地は、保育所の計画用地であったと聞いている。この市有地や大年団地の中の土地を解決策として検討することについて所見は。</p> <p>ふるさと納税の増加策について問う。</p> <p>(1) 返礼品をさらに増やす予定はあるのか。</p> <p>(2) 多くの人に納めていただきやすい、寄附金額1万円を照準とすることについてどのように考えるか。</p> <p>(3) ふるさと納税を継続していただけるような仕組みづくりについて、どのように考えているのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
15	<p>奥野 正三 6月14日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国道整備について</p> <p>2 公用車の運行管理について</p>	<p>今年の3月18日に、新名神高速道路の高槻ジャンクションから神戸ジャンクションまでの全線が開通した。これにより本市に来る車両が一層増えると考えられる。これに伴う周辺国道の整備について問う。</p> <p>(1) 国道423号の今後の整備計画は。</p> <p>(2) 国道372号の南丹市園部町南八田から北方面への整備完成予定は。</p> <p>(3) 国道9号の加塚交差点から国道372号と国道423号の重利交差点までの拡幅工事が必要だと考えるがどうか。</p> <p>市民が乗車し、職員が運転して運行する公用車の管理について問う。</p> <p>(1) 児童が利用するスクールバスは、どのように管理しているのか。</p> <p>(2) 多人数の移動に利用するバスは、どのように管理しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 農山村教育民泊について</p> <p>4 生活習慣病予防健診実施機関について</p> <p>5 府民公募型整備事業について</p>	<p>(3) 職員が使用する車両は、どのように管理しているのか。</p> <p>(4) 全車両の任意保険等の現状は。</p> <p>南丹市、亀岡市、京丹波町の2市1町の農家等で、国内外の小学生・中学生・高校生を対象とした教育民泊や、日帰り体験ツアー等を受入れ、活動されている。</p> <p>(1) 本市はこの活動をどう考えているのか。</p> <p>(2) 現在、この活動について、本市はどのような関わりをしているのか。</p> <p>(3) 本市への将来の移住・定住や就農の一助になる活動と考えるがどうか。</p> <p>(4) 今後、本市での広域的な取組みの考えは。</p> <p>健康保険には「協会けんぽ」と「組合健保」の2種類がある。このうち「協会けんぽ」について問う。</p> <p>(1) 市立病院が実施機関となっていないのはなぜか。</p> <p>この事業で、市内各所の整備が進められ、多くの市民が事業の成果を喜んでいる。京都府は、この事業を今年度にいったん打切ると聞いている。</p> <p>(1) これまでの申請分の対応は。</p> <p>(2) 京都府の今後の考え方は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>病院事業管理者 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
16	<p>小川 克己 6月14日(木) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 防犯カメラ設置について</p>	<p>全国において街頭における凶悪な犯罪は減少傾向にあるとはいえない。セーフコミュニティ認証のまち亀岡として、防犯カメラ設置は犯罪の抑止、また事件・事故の検証につながるものであると考え、所見を問う。</p> <p>(1) 本市における犯罪発生件数の推移はどのようなものか。</p> <p>(2) 子どもや女性に対する声かけなど不審事案の実態は。</p> <p>(3) 防犯カメラの設置状況は。</p> <p>(4) 防犯カメラについて、国・府や関係機関と連携した取組みは。</p> <p>(5) 防犯カメラ設置について、今後の取組みは。</p> <p>(6) まち・レコプロジェクト、ドライブレコーダーによるまちの見守り協定はどのようなものか。</p> <p>(7) まち・レコプロジェクトの今後の取組みは。</p> <p>(8) 日本初セーフコミュニティ認証のまち「かめおか」として、再々認証に向けたさまざまな取組みをしているが、セーフコミュニティ認証のまち亀岡・まちレコ亀岡をもっとPRすることにより、犯罪抑止につながると思うが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 人と地球環境にやさしいまちづくりについて</p> <p>3 スポーツ振興のまちづくりについて</p> <p>4 婚活支援について</p>	<p>道路側溝などにペットボトルなどプラスチックごみが捨てられているのが目につく。それらは川から海へ流れマイクロプラスチックとなり、それらを食べた魚介類などから、生態系への影響も懸念される。ごみの減量や資源化により、未来に美しいふるさと亀岡を残すための取組みについて問う。</p> <p>(1) 本市におけるごみ減量の取組み、さらなる分別資源化についての考えは。</p> <p>(2) 子どもたちへの環境学習についての取組みは。</p> <p>(3) ごみの不法投棄・ポイ捨て禁止の啓発にどのように取組んでいるのか。</p> <p>2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本市においては京都スタジアム(仮称)が完成する。本市におけるスポーツ振興、健康なまちづくりの取組みの考え方について問う。</p> <p>(1) オリンピック・パラリンピック開催に向けたホストタウンの取組み状況は。</p> <p>(2) 聖火リレーの京都府内における配分案の状況は。</p> <p>(3) 新たなスポーツ種目の振興と、新たなスポーツ人口の発掘についての取組みは。</p> <p>(4) スポーツ推進委員や職員の先進都市との交流は。</p> <p>(5) 京都スタジアム(仮称)を核とした、スポーツを通じたにぎわいのまちづくりの考え方は。</p> <p>本市における婚活支援事業について問う。</p> <p>(1) 婚活支援事業の取組みと実績は。</p> <p>(2) 本年度の取組みは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
17	<p>奥村 泰幸 6月14日(木) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想について</p>	<p>亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想が策定され、今後、この構想を基に事業が推進されていくこととなる。</p> <p>(1) これまで整備されたウエルカムガーデンや霧のテラスについて、運営状況は。</p> <p>(2) 亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想に関連して、これまでに整備した公園や施設の管理・運営状況について問う。</p> <p>① 亀岡運動公園の管理・運営状況は。</p> <p>② 千代川浄水場噴水の管理・運営状況は。</p> <p>③ 農業公園の管理・運営状況は。</p> <p>④ 古世親水公園の管理・運営状況は。</p> <p>(3) 亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想の位置付けは。</p> <p>(4) 亀岡駅北地区の駅前広場計画について、亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想の基本方針との整合性は。</p>	<p>市長</p>

		2 大河ドラマ「麒麟がくる」の放映決定について	大河ドラマの経済波及効果を得るための亀岡市の取組みについて問う。 (1)大河ドラマによる観光振興と地域経済の活性化を推進するため、組織強化が必要と考えるがどうか。 (2)大河ドラマ館の取組みについての考えは。	市長
18	酒井安紀子 6月14日(木) 14:00~ ※一問一答	1 公共施設等の管理運営について 2 亀岡市における契約書の解釈について 3 情報発信について	老人福祉センターが、これまで許可なく占有されていたことについて、違法であると認めざるを得ず、亀岡市は管理を怠っていたとの判断が監査委員によって下された。また、人権福祉センターの一部をNPO団体が許可なく占有している状況についても市民から情報提供がなされた。 (1)他にも不適切な管理運営がされている財産がないか、全体的に調査してはどうか。 (2)目的外使用における光熱水費の負担について、規定を設けていない施設があるのはなぜか。 (3)公の施設等の不適切な管理運営によって、市にもたらされる損害とはどのようなものであると考えるか。 亀岡市における契約書の解釈について問う。 (1)契約書に書かれていない条件を決裁の際に付加する取扱いが常態化しているのか。 (2)亀岡市が業務委託する際の「配布」の定義には、「備え置く」ことも含まれているのか。 情報発信について問う。 (1)市民に届けるべき情報の発信のあり方を今後どのようにしていく考えか。	市長 副市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長